



2004年度第2回未踏ソフトウェア創造事業
開発者：高橋 明生（武蔵工業大学大学院）

- 
- c00k /> c0 a0
 c00k /> c0 a0 ephura tel
 事はあはばら、
 やうやう白くなり行く、山ぎは少しあかりて、寂だちたる雲の細くたなびきたる。
 雪は寒、
 月のこほはさらなり。
 やみもなほ、はたるの多くぬけもがひたる。
 また、たて一ツ二ツなど、ほのかにうち光りて行くををかし、雨など降るををかし。
 夕日は夕暮。
 夕日のさして山の嶺にはいと雲うなりたるに、舟からすはの嶺どころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなどぬけいそでさへあはれなり。
 まいてぬかりなどつちねたるが、いと小さく雲のほはいとをかし。
 日入りはてて、嵐の嶺、雲の嶺など、はたいふへきにあらず。
 雪はつとめて。
 雲の降りたるはいふへきにもあらず。
 雲のいと白きも、またさらでも、いと薄きに、光などいそがおこして、おもてわたるもいとつきづきし。
 嵐になりて、あましく中あびもて行けば、大嶺の光も白き雲がちになりてわろし。
 c00k /> a0